

私立大学図書館協会 2016 年度第 1 回国際図書館協力委員会議事要録

日 時： 2016 年 5 月 11 日（水）14：00～17：00
場 所： 同志社大学 今出川キャンパス 図書館 2 階 特別閲覧室
出席者： 工藤晶子（学習院大学）、 坐間礼子（桜美林大学）、
中島操（同志社大学）、 渡辺英二（中京大学）、
井口紀子（福岡大学）、 館田鶴子（委員長・慶應義塾大学）
会長校： 千葉信一、 布施賢治（東洋大学）
事務局： 吉沢亜季子（慶應義塾大学）

配布資料：

1. 2015 年度第 5 回国際図書館協力委員会議事要録
2. 国際図書館協力委員会名簿
3. 国際図書館協力特別会計 2015 年度決算・2016 年度予算報告
4. 2015 年度国際図書館協力基金入金報告
5. 2015 年度第 2 回東西合同役員会報告
6. 2015 年度委員会活動の報告（東西合同役員会での報告資料）
7. 2016 年度大学図書館職員短期研修への講師派遣
8. 2016 年度第 1 回寄贈資料搬送事業
9. 2006 年度海外認定研修 A, B
10. 私立大学図書館協会研究大会での講演
11. 寄贈資料搬送事業の採択について（国際大学）
12. 私立大学図書館協会の図書館総合展出展について（協会賞審査委員会）
13. 協会ホームページ国際図書館協力委員会に関わる英文のページ
14. 国際図書館協力委員会スケジュール

議事：

会議に先立ち、2015 年度第 5 回国際図書館協力委員会議事要録の確認があった。
（資料 1）

報告事項：

1. 同志社大学からの委員交代について（資料 2）
2016 年 5 月 1 日～（人事異動による）
同志社大学： 齋藤道子 → 中島操
2. 国際図書館協力特別会計 2015 年度決算・2016 年度予算報告（資料 3）
2016 年度予算「支出の部」の事業活動費（内訳）について、2016 年度は私立大学図書館協会研究大会での講演会を行うため、その費用（シンポジウム運営費）に 200 万円が計上されている（概ね二年に一度の計上）。また、例年計上されている海外集合研修費 160 万円は、海外認定研修補助費へ移した。
3. 2015 年度国際図書館協力基金入金報告（資料 4）
8 社、合計 65 万円の入金があった。8 月 25 日に開催される私立大学図書館協会 2016 年度総会で、「2015 年度ご寄付いただいた企業」として報告を行う。
4. 2015 年度第 2 回東西合同役員会報告（資料 5）
3 月 4 日に東京ガーデンパレスにて開催された第 2 回東西合同役員会で、当委員会から「2016 年度国際図書館協力委員会の活動について（今後の実施事業についての提案）」を報告した。海外認定研修（B）の実施と、8 月 26 日の私立大学図書館協会研究大会での講演は、提案の通り進めることとなった。

5. 2015年度委員会活動の報告（資料6）
2015年度の東西合同役員会と、常任幹事会へ提出した報告資料を確認した。
6. 2016年度大学図書館職員短期研修への講師派遣（資料7）
主催機関である京都大学から派遣者へ、開催日程と講義内容の連絡があった。
派遣者：早稲田大学図書館利用者支援課 藤順一氏（2015年度海外派遣研修参加）
日程：京都会場 2016年10月4日（火） 東京会場 2016年11月29日（火）
7. 2016年度各事業進捗状況
- (1) 第1回寄贈資料搬送事業（資料8）
- ・前期 加盟館へ通知文書を送信 4/15
2015年11月にラトビア国立図書館 East Asia Research Section から寄贈依頼があり、別紙の扱いで通知を行った。慶應義塾大学湘南藤沢メディアセンターから寄贈の打診があり、現在手続き中である。
- (2) 海外認定研修A, B（資料9）
- ・海外認定研修（A）例年同様の募集
加盟館へ通知文書を送信 3/14
助成対象期間：2016年2月1日（月）～2017年1月31日（火）
一次締切日：2016年10月31日（月） 二次締切日：2017年2月28日（火）
 - ・海外認定研修（B）ALA・米国図書館研修（図書館総合展運営委員会企画）
加盟館へ通知文書を送信 3/14 追加募集文書送信 4/27
研修日程：2016年6月21日（火）～28日（火）
締切日：2016年4月25日（月） 追加募集締切日：2016年5月16日（月）
会議開催日の時点で、次の申請者があった。（追加募集での応募はなかった。）
補助額の支給は、報告書（8/31）を受理した後となる。
申請者 3名（申し込み順）
 - ・五十嵐 孝子 国際基督教大学図書館
 - ・涌井 絵未奈 中央大学図書館
 - ・櫻井 真理子 明治大学図書館
- (3) 私立大学図書館協会 2016年度研究大会での講演（資料10）
研究大会当番校の上智大学図書館より、当委員会委員長宛てに「講演の依頼について」の文書が届いており、講演者へも通知した。講演の内容等は、以下の通り。
講演後のお昼休憩時に、招聘者と委員会メンバーとの懇談会を予定している。
場 所： 上智大学（四谷キャンパス）
日 時： 2016年8月26日（金）10:50～12:00 講演＋質疑応答 10分程度
招聘者： マルラ俊江（Librarian for Japanese Collection, C.V. Starr East Asian Library, University of California, Berkeley）
演 題： 日本研究司書の仕事 - カリフォルニア大学を事例として

審議事項：

1. 寄贈資料搬送事業 前期 締切日前の審査・採択決定（資料11）
これまでに1件の申請があり、締切日前であるが会議の場で事前の審査を行った。特に問題はないことを確認し、採択することを決定した。今後の申請については、締切日後にメール審議を行う。採択校へは、全ての審議後に結果を通知する。

国際大学：今回申請のあったザンビア大学へは、前回に続き2回目となる。
(200冊12箱, 見積額 ¥75,000)

2. 図書館総合展への出展に関する協会賞審査委員会からの協議依頼について
(資料12)

協会賞審査委員会で「協会の広報活動の一つに、図書館総合展の場を活用してはどうか」との意見があり、「今年度に協会としてブースを出展すること」について当委員会へ協議の依頼があった。以下の意見交換により、図書館総合展への出展は見送ってよいのではないかと結論となった。

- ・ 広報活動の場を広げる工夫をすることは重要と考えるが、図書館総合展は参加者の所属が広い。協会加盟館に絞った適切な場所が他にあるのではないか。
- ・ ブースの出展料が20万円以上かかること、また、実施に関わる準備等の業務量を考えると、費用対効果の面で効率が良いとはいえない。

その他：

- ・ 英文ホームページの更新について (資料13)

委員会に関連する幾つかのページのうち、連絡先関連の箇所のみ昨年度に更新を行った。全体的に暫く更新されていないため、現在の活動と多少異なる点も見受けられる。今期は試行として新たな試みを行っているが、このタイミングで文面を見直すかを検討する。

- ・ 今後のスケジュールについて (資料14)

次回の委員会は、10月に東洋大学(予定)にて行う。

例年7月に委員会を開催しているが、今年度は集合研修がないため適宜メールで連絡を取り合うこととする。必要であれば、委員長より委員会開催の連絡を行う。

以上